

# 神奈川県立総合療育相談センター 当事者ヒアリング結果（概要）

## 当事者ヒアリングにおける主な御意見等

### 障害者更生相談所関係

NO	意見等の内容
1	障害者手帳や補装具は、市の障害福祉課が窓口となるため、総合療育相談センターが更生相談所として、相談・判定などを行っていることを知らなかった。もっと周知が必要ではないか。
2	法に基づく機関であることは分かっているが、「更生相談所」という名称は、せめて呼称としてでも変更してほしい。 「更生」は、今の状態ではよくないので改めるという意味であり、何も悪いことをしていないし、自分自身で治すことができないのに、生まれてきたことが悪いというようにも受け止められる。
3	障害者が社会に関わる際、その都度、自分自身の障害の特徴を説明しなければならない。障害者手帳に個々人の障害の特徴を電子データで取り込めると負担軽減につながる。事務処理のデジタル化で、人材不足の解消にもつながるのではないか。

### 療育支援

NO	意見等の内容
1	車で1時間から1時間30分かけて通うのに、幼稚園や学校で友達と過ごす時間を削らなければならなかった。中には5時間目の授業を受けずに通う子もいた。県に1箇所では無理ではないか、最低でも3箇所はあってほしい。
2	民間法人に委託した方がよいのではないかとも思うが、総合療育相談センターは県直営の拠点として継続し、支援機関を指導する役割を担ってほしい。
3	目の前だけではなく、将来のビジョンを描くことがとても重要で、今を生きることに精いっぱいでも将来のビジョンを描けない者に、ビジョンを描くように支援する役割がある。情報を体系化して地域につなげる手助けをすることが必要である。

### 診療所（外来診療）

NO	意見等の内容
1	基幹的な医療機関として、総合療育相談センターは子どもを評価して地域の医療機関につなぐ役割がある。
2	医療機関はどこもいっばいで、医師不足は深刻な問題と感じている。
3	電子カルテを導入し、地域の医療機関とのデータ連携ができれば、人的な負担を減らすことができるのではないか。

### 診療所（入院診療・医療型短期入所）

NO	意見等の内容
1	医師が確保できなければ、命に直結すること。人材確保は重要である。
2	小学生の時、環境が変わって眠れず毎晩泣いた。寂しさから看護師を呼んでしまい、辛い思い出がある。
3	子どもが家族と離れて過ごす場所には、大人とは違う子どもの気持ちに寄り添った支援が必要。

### 全般・その他

NO	意見等の内容
1	特別支援学校に、療育支援でお世話になった作業療法士の方が来て、とても心強く感じた。